

会員探訪

MEMBER OF THE MONTH

株式会社PES建築環境設計

名古屋商工会議所 鈴木 勇
 中小企業相談所 星ヶ丘支所長



「アースデイ2000」の寄せ書き

建築事務所としては、いち早く
 環境問題に取り組み始めた株式会社
 PES建築環境設計。

PESとは、「PLANNING
 the ENVIRONMENTAL
 SPACE」の頭文字を並べたもので、
 人間をとりまく環境空間をプランニ
 ングしていくという主旨を表して
 いる。

会社設立の原点

今日では「環境」といえば新聞紙上
 その他あらゆる場面で目にし、耳にする
 キーワードの一つであるが、25年以上も
 前に「環境」を第一義的に意識して会
 社を設立していることは慧眼である。

その原点は何か。

石黒社長は建築学科大学院修士課程
 修了後、昭和四十二年に渡米しニュー
 ヨークのシスカ・アンド・ヘネシー設備設計
 事務所（プロシニク・エンジニア）として

二年ほど勤務した。当時、日本は高度
 成長期を過ぎようとしていたとはいえ、まだ一ド
 ル三百六十円時代、アメリカ渡航は高
 額の花であった。紹介者はあったものの、
 人材に当たらずはずたて自分と、向い合わせ
 手続をしたという。

二十代半ばの石黒青年の渡米は不安
 と期待が入り交じり、その大きさは今
 日とは比べようのないほどだったと想像
 される。二百五十人もの所員を擁すこ
 の事務所は、設備設計に関してはアメリ
 カ最大級の規模であり、所員も世界各
 国から集まっていた。日本人は石黒社長
 ただ一人だったという。

ここで、五十階建てを超える超高層
 ビル（日本では、初めての超高層ビル「麗
 々園ビル」が昭和四十二年に完成したや、
 五十一六十間スパンの長期プロジェクト
 などの仕事を通じて、環境に配慮した

設計思想を学んだ。また、帰国後の
 昭和四十五年、ニューヨークで第一ア
 ーティストに参加したことで、環境に対し
 て本格的に関心を持つに至った。自然

設備の否定、はじめにありき

を生かしながら快適な都市空間、建築
 空間を創造したいという強い思いである。
 そして帰国後の昭和四十七年二月、
 その思いを具現化・目的とするPES
 建築環境設計を設立した。

同社の仕事は、「自然を生かすために、
 設備をやるにはどうしたらいいのかが

会社概要

- 代表者/代表取締役 石黒雄樹
- 所在地/千種区内山3-29-1D(千種AMCビル6F)
- TEL/062-733-6826
- 創業/昭和47年3月
- 資本金/2,400万円
- 従業員/15名
- 事業内容/設備関係コンサルティング
 (省エネルギー、省資源、防災設備関連)
- 主な取引先/ヤマハグループ(特にヤマハ、ヤマハ発
 動機、三重工機)、ウシントンホテル株
 式会社、リコーグループ、名古屋市
- 関連会社/株式会社春日井教育センター
 PES INTERNATIONAL, INC. (NEWYORK, U.S.A.)



国内での活躍で多様な取引先を持つ。



広島ワシントンホテルプラザ

という逆説的ともいえる設備へのアプローチから始まる。自然を優先し、その力を最大限利用することでその機能をカバーし、足りない部分が出て始めて機械で補うという考えだ。

設備設計屋なのに設備を否定している。設計料は工事金額に対して一定の割合だから、当然収入は減少する。この矛盾をどうクリアーしているのだろうかと疑問がわく。

石塚社長の話では「成功報酬＝成果に対して正当な金額をもらう」とのことである。建設設備のコンサルティング料というわけだ。

また同社が営業をする場合、保守・修繕の重要性を説き、メンテナンスプログラム、ファシリティアマネジメント(※)、エ

ネルギーマネジメントを予測して提案するのだが、取っ掛かりの企業調査に関する費用は多く自前である。

一業種一社をモットー

同社の経営を支える営業展開は、秘密保持のため一業種一社をモットーにしている。環境への負荷低減の成果が得られ、しかも経済的なメリットも確保するには、依頼主に設計図を始めすべてをできるだけ開示してもらう必要がある。依頼主との信頼関係は同社にとって生命線なのである。

主要顧客であるワシントンホテルグループやヤマハグループではこうして全面的

に信頼を勝ち得て、長きにわたりコンサルティングをしている。

通常、ビル所有者は建物本体のみの設計を重視し、そのためテナントにとっては大変使い勝手が悪い状況が発生したり、維持管理のランニングコストが増加したりする。

ワシントンホテルプラザの場合、設計段階からテナント側に立つて固わり、快適なホテル環境の創出・運営、無駄な設備の排除、環境保護実践活動と望ましい成果をあげている。

日本グリーンビルディング協会の創設

石塚社長は、興業種が基まり、環境に優しい建物づくり、まちづくりを目標とする「日本グリーンビルディング協会」を創立し、現在、全国の100社を超える参加企業のもと副会長として活躍している。平成9年に第一回を開催した地球環境グリーンセミナーは、東京名古屋・大阪などから毎年開催している。

さらに今年にはアースデイ30周年(2000年地球の日)「フュニスタール」を名古屋久保大通り公園で去る4月22日・23日大々的に開催した。

また先般、米国の事例をまとめた「ア

リーニング・ペロブメント」を監訳出版した。街のグリーン化の実践事例として大きな反響を呼んでいる。

※ファシリティア：便宜、設備、施設、機材等にホテルなどで利用者の便宜を図るための設備。

(編集者：michiko@2000.net)



ヤマハ環境プラザセンター